



居合道だより

100TH COMMEMORATION



1

はじめに

紅葉の話題が、福岡でもぼちぼちと聞こえ始めてきたこの月始め、居合道だよりが第100号の節目を迎えた。年月にして8年と4ヶ月経ったことになる。創刊から69号まで、この「はじめに」の欄を執筆し続けられた迫野康雄先生、そして79号まで編集のすべてをお一人で担当してこられた上田武尚先生にあらためて心からの感謝と尊敬の念を捧げたい。

第70号から筆者に交代したが、元々浅学非才の身、前任者のように高尚な内容とはいかず、ただその折々の社会の出来事や武道に対する己自身の思いを、肩肘張らず自由気ままに綴ってきた。とは言え、もともと勤勉とはほど遠い性格の我が身としては、これが結構きつかった。

毎月締め切りが近づいてくると憂鬱になってくる。編集担当のK君が「先生！何ヶ月分か書き溜めしたらいいじゃないですか！」なんぞと暢気なことをのたまってくる。

書き溜め出来るくらいなら、毎回締め切りに苦労なんかしないわい、ってな問答が30回続いてきた次第である。

そう言う訳だからでもないが(少しはあるかも、、、)記念の今回から広く会員の皆さんにも登場して貰うことにした。

ここ10年で、わが居合道部も大きく変わってきた。進歩しているとの自信もある。

もっともっと「会員の、会員による、会員のための」居合道部に発展して行って欲しいと願っている。

手始めに、ここ数年の居合道初心者教室出身者のエッセーを掲載していく。

すでにもう手元には十人からの原稿が届いている。当然彼らは現在も居合を続けている面々である。教室入会の動機はそれぞれ違っていたが、続けることによって、彼らなりに居合道の良さを見つけてくれたことを、本当に嬉しく思っている。

人間にはいろんな才能がある。知能指数の高い人、運動神経の発達している人、器用な人、感性の豊かな人等であるが、実は『努力ができる人』というのが最高の才能ではなかろうかと思うこの頃である。

== 『継続は力なり』 ==



2

居合道だより 100号記念によせて

(公社) 福岡県剣道連盟

福岡県剣道連盟 居合道部 会長 迫野 康雄

100号発刊おめでとうございます。一つのことを続けることは、簡単なようでなかなか難しいことです。続けていくうちにいろんな苦行が起こってきます。例えば、もう辞めたい、もう続けられない、仕事が忙しい、ほかのことがしたい兎に角ここか

ら逃げたいとマイナスイメージがどんどん湧いてきます。わたしも思い当たることが沢山あります。皆さんはどうですか。

例えば、皆さんが今、修業している居合について考えてみましょう。前に述べた様な、色々な苦行や悩みを抱えている方はいませんか。解決策になるかどうかは、わかりませんが、ひとつは習い始めた時の気持ちを思い出して下さい。居合がしたくてたまらなかつたと思います。初心に帰って下さい。もうひとつは、居合をしていて嬉しかった、楽しかった、良かった時のことを思い出して下さい。その当時は居合が面白かったはず。必ず、ヨーシもう一度頑張ろうとか続けるかと気持ちが代わると思います。

苦しい時代のこと程、振り返れば良き思い出となります。

良くても悪くても続けることです。「あの時辞めなかつたらなあ」ときつと後悔することになります。辞めてしまえば終わりです。

努力していれば、いつか必ず良い結果が訪れます。「継続は力なり」



3

『居合道だより』100号によせて

居合道だより創刊者

錬士 六段 上田武尚

『居合道だより』100号発刊お慶び申し上げます。発刊当時のエピソードで何か原稿をとの申し出でネタを探してみましたが特に思い出す事も無く、悩みながら1号から『居合道だより』を読み返してみた。当時の出来事が次々と思い出されると同時に

時間の経過に伴い色々なことが変化していることが判る。たとえばまだ低段者だった方が高段者に、各大会入賞者の顔ぶれが変化したり等など。剣友諸兄に於かれても過去の記事を読み返すことにより当時の自分と現在の自分の変化をあらためて気が付かれる事でしょう。

私には、この小さな会報さえも8年間の蓄積でいろいろな事を教えてくれました。記録を残す意義の重大さを再認識したところです。“継続は力なり”本当ですね。発刊から69号まで迫野先生、79号まで井手先生のご指導で『居合道だより』の編集を担当させて戴きました。100号発刊を節目とし更なる愛される『居合道だより』を目指して下さい。

剣友諸兄に於かれましては、原稿投稿（感想文、観戦記、随筆、スナップ写真、各道場のトピックス、図書紹介等）をお願いします。それは自身の記録として未来に残り後人に伝えることが出来るからです。

居合道だより 2代目編集者

飯塚居合道同好会 四段 高津輝明

「居合道だより」100号発刊を迎えお慶び申し上げます。

前任者から突然の引き継ぎで紆余曲折あったものの、無事100号を迎えるにあたり、前任者は元より、居合道部関係者の皆様、写真提供していただいております千代剣の江藤さん等数々の皆様に、この場をお借りいたしまして深く御礼申し上げます。

皆様に支えていただき無事100号を迎えることができました。

これからより一層、ウェブ、FACEBOOK、居合道だより等の広報のパワーアップしていきますので、引き続きご指導ご鞭撻、またご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、**ご意見、ご感想、ご寄稿**、写真投稿等ございましたら私、高津まで、ご遠慮なくお申し付けいただきますよう重ねてお願い申し上げます。



4

会員の声

平成二十五年度 居合道初心者体験教室を受講して

飯塚居合道同好会 山田 真理子

還暦を過ぎ、運動不足を感じるものの、激しい運動には身体が着いていかないことも実感していたので、知り合いから「居合道初心者教室が始まる」と聞いた時は、「これだ！剣道と違って動き回るわけじゃないようだ！」と飛びついた。

甘かった～！1本目を習った帰りは体育館の玄関からでて数段の階段で、膝がガクガクした。ゆっくり立って、ゆっくりしゃがむ・・・は何ときついことか・・・。

運動には自信があった若い頃と違って、頭では分かっているけど身体がついていかない。「そうじゃないのに、私の身体ったら・・・」と情けない。それでも、先生の丁寧な教えと先輩たちのそれぞれのアドバイスのおかげで、夏には何とか12本を覚え、なぞりながら細かいところの修正を一つ一つ身体に染み込ませてゆく。その繰り返しが楽しい。

礼に始まり礼に終わる居合道。なかなか時間がとれないが、私の身体が動かなくなるまで、自分のたしなみとして続けたいと思っている。

「ぼくと居合」

平成20年度居合道初心者教室修了生
千代剣友会 2級 相馬 俊平 (小6)

僕は小学校入学前に、お母さんの知り合いのおじさんに居合を紹介してもらって、お母さんに連れられて行った武道館で居合を始めました。最初の半年は「初心者教室」で居合の基礎等を、井手先生、堤先生、野田先生の3人の先生から学びました。

その時の僕は、大人がけいこしている3分の1くらいけいこして、後は遊んでいました。

そして井手先生に千代剣友会を紹介していただきました。

始めは怖そうと思った先生がいたけど、すごく優しくいい先生です。逆に優しくそうな先生もいます。

普段は優しいけどけいこはとても厳しい先生です。

その他にも色々な人と知り合いました。



僕は居合をやっていて良かったと思います。なぜなら色々な人と知り合えたし、とても為になるからです。

井手先生にとっても感謝しています。

これからも一生けん命がんばりたいと思います。

平成20年度居合道初心者教室修了生
千代剣友会 三段 相馬 仁美(44)

私達親子の居合道との出会いは、私が小さい頃からお世話になっている5段の先生に初心者教室の案内を教えてもらったのが始まりです。

息子は小さい頃から男の子なのにおとなしく、少し心配だったので小学校に上がる前に相談したところ、「ちょうど秋から教室が始まるから是非行ってみなさい」と後押しされ、何の知識もなく申し込みをしました。

なので息子にさせるつもりが私も一緒に始めることになり、息子の小学校生活と同じく6年たちました。

半年の教室が終了後は、「千代剣友会」を紹介していただき、高段者の先生達がいっつも丁寧に教えて下さいます。

9月に卒業アルバム用の写真で、一人ずつ小学校時代の思い出の物を持つての撮影があり、「1年生から始めた居合だから、その刀を思い出の品として写真を撮りたい」と言った息子の中に、居合が大きく占めているんだなと嬉しく思いました。

親子で上達はゆっくりですが、ずっと一緒に続けていけたらと思っています。



5

主な出来事

10月25日(土) 第49回全日本居合道大会 福島市

結果： 団体： 2位

個人： 五段 井手烈太郎選手 2位

七段 馬場清治選手 2位

という結果でした。

詳細・観戦記はこちら→<http://riai.info/?p=1808>



6

11、12月の予定

- | | | |
|-----------|--|-------|
| 11月8日(土) | 居合道教士称号筆記試験 | 福岡市 |
| 11月15日(土) | 居合道6.7段審査会 | 東京都 |
| | *前号では8日と案内していましたが全剣連の間違いでした。
受審者の皆様にご迷惑をおかけします。 | |
| 11月30日(日) | 居合道稽古会、級審査会 | 福岡武道館 |